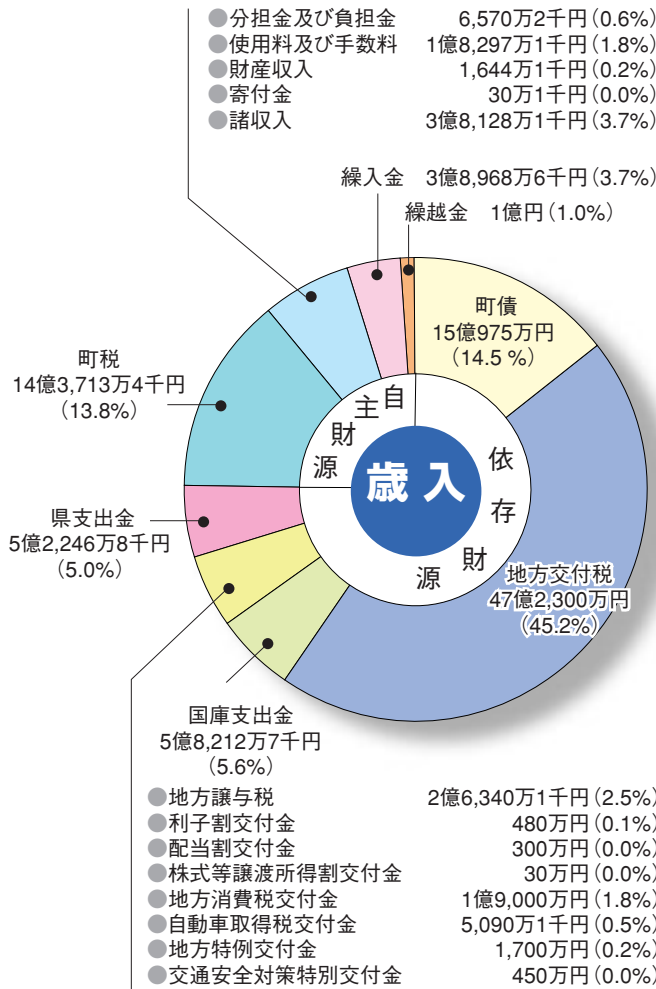


# 141億3,845万7千円

## 0.8%増の104億4,476万3千円



美郷町総合計画の前期最終年度となる平成21年度当初予算が、町議会3月定例会で可決されました。

一般会計と6つの特別会計を合わせた町の総予算額は、141億3,845万7千円。

このうち、一般会計当初予算は104億4,476万3千円で、前年度比8,543万3千円(率にして0.8%)の増となりました。

※なお、一般会計当初予算は、国の緊急経済対策により平成20年度3月補正予算へ前倒しした2億182万6千円を加えると、106億4,658万9千円で、前年度比2.8%の増となります。この補正は、現下の経済状況に鑑み、緊急な経済対策を講ずる必要があることから、地域経済の活性化に資する事業に予算の重点配分をし、前倒ししたことによります。

### 平成21年度特別会計

( )内は前年度比

**特別会計総額**  
36億9,369万4千円(5.2%減)

**国民健康保険特別会計**  
24億4,850万円(7.2%増)



**老人保健特別会計**  
126万円(99.5%減)



**簡易水道事業特別会計**  
5億8,560万3千円(9.5%減)



**下水道事業特別会計**  
2億428万4千円(1.9%減)



**農業集落排水事業特別会計**  
2億6,077万円(19.0%減)



**後期高齢者医療特別会計**  
1億9,327万7千円(6.2%減)



### 一般会計歳入

町税をはじめとする一般財源は、的確で公平な課税の把握に努めるとともに、依然厳しい地方財政対策の内容や各般の情勢を踏まえつつ、不測の財政需要や制度改正などにも対応できるよう、地方交付税などの一定の留保に配慮しています。

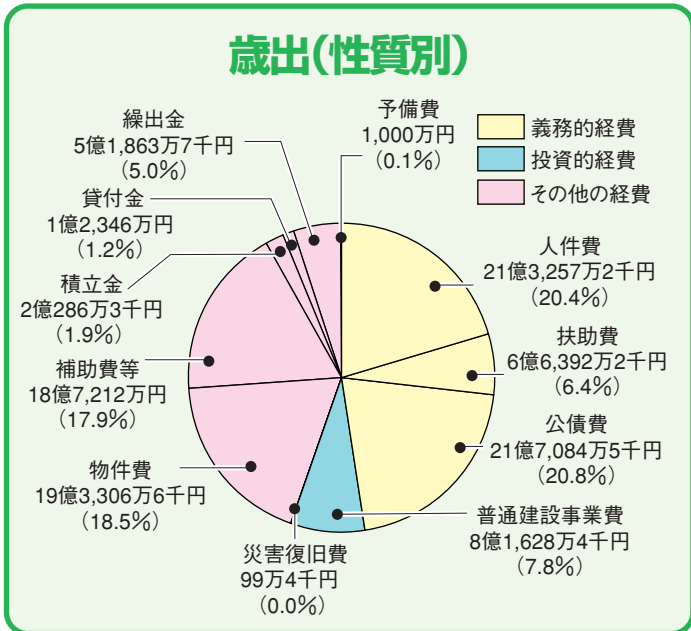
町債については、実質公債費比率の改善に向けた公債費負担適正化計画を踏まえ、後年度負担に配慮するとともに、適債事業や有利な起債をできる限り活用することで計上しています。

繰入金については、歳入不足に対処するための財政調整基金の取り崩しを行っていますが、後年度の事業計画や財政健全化のための繰上償還を見据え、必要最少額としています。

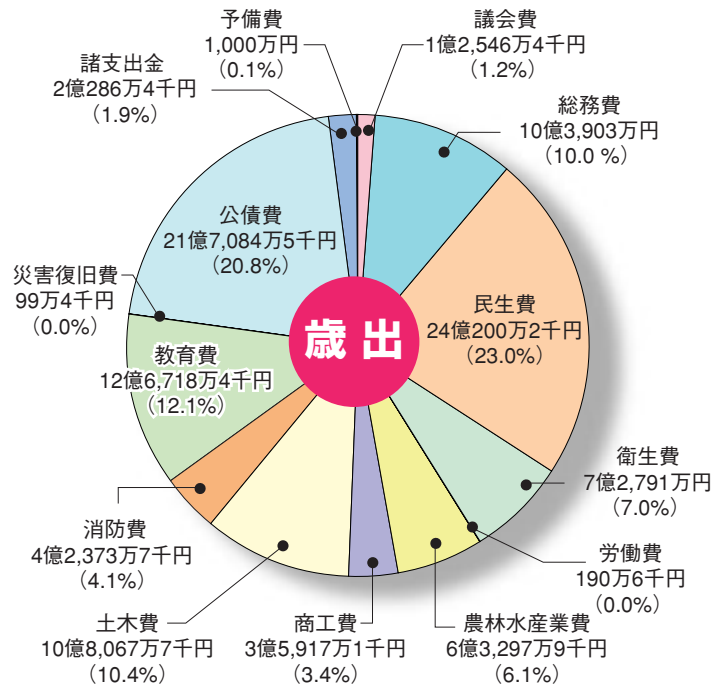
# 21年度当初予算総額

## 一般会計予算は前年度比

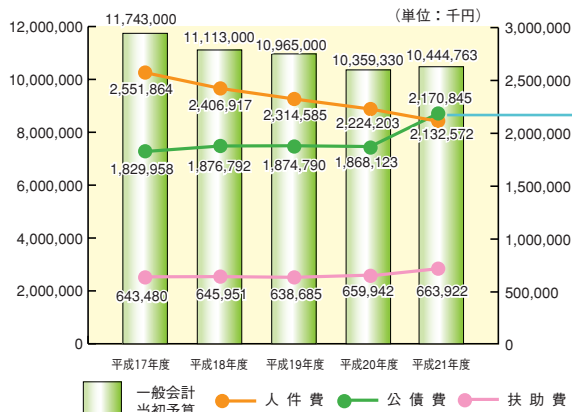
### 歳出(性質別)



※各グラフの金額の構成比は、端数処理のため、合計が100%にならない場合があります。



### 一般会計当初予算額と義務的経費の推移



### チェック

公債費が前年度比16.2%の増となりますが、これは、公債費の後年度負担を軽減するため、3億7,888万7千円を繰上償還することによるものです。

### 一般会計歳出

経常収支比率の更なる改善に努めるために、経常経費の徹底した削減、具体的には、19年度決算をベースとした予算計上を基本とし、政策経費の確保に努めるとともに公共施設再編等を見据え、施設管理経費の見直しや既存事務事業の見直しなどを実施しています。

政策経費については、国の緊急経済対策などによる追加配分があるものの、県の「更なる財政改革」による制度改正、事業縮小・廃止などにより依然厳しい財政状況にあります。政策展開や制度改正の方向などを的確に捉え、急激な負担増、サービスの縮小にならないよう一定の配慮をしています。

また、複数の課の連携プロジェクトによる事業の集約を図るなど最少の経費で最大の効果を発揮できるように意を払い、さらには、町民の目線に立った事務事業の厳選など、真に必要な事業に重点的に配分することを基本としています。

### キーワード

- 扶助費**▶高齢者、児童、心身障がい者等に対して行っているさまざまな扶助(援助)に要する経費のこと。
- 公債費**▶地方公共団体が借入れた地方債の元金と利子の返済に充てる経費のこと。
- 義務的経費**▶法令やその性質により支出が義務付けられている経費のこと。全体に占める割合が高いほど財政の硬直化を示す。
- 投資的経費**▶支出の効果が最終的に資本形成に向けられる普通建設事業費、災害復旧事業費などの経費のこと。全体に占める割合が高いほど歳出の自由度が増しているといえる。